

第37回 経営に貢献する CAE セミナー

無料・オンライン

製造業におかれましては、市場での生き残りを賭けて、製品の企画・開発プロセスのデジタル化を急速に進められています。その中でも CAE の活用は大きな役割を担っています。このような状況に対応して、CAESEKI.com 事務局（富士通グループ）では、お客様に CAE に関する有用な情報をご提供すると共に、業種横断的な情報交流の場をご提供することを目的として、セミナーを開催しております。

本セミナーでは、『経営に貢献する CAE』をテーマに開発プロセスの革新とともに、CAE の活用により経営に貢献されているお客様にお願いいたしまして、取り組み、効果、IT 技術への一層の期待などを、ご紹介頂く予定です。

セミナー概要

日 時

2022年7月27日（水）13:00 ~ 16:00

主 催

CAESEKI.com 事務局（富士通株式会社）

参加費

無料

開催形式

オンライン開催

お申し込みいただいたお客様にメールにてアクセス先 URL とアクセス方法をご案内致します。

お申し込み

お申し込み

下記 URL または QR コードにアクセスして、申込フォームに必要事項を入力して、申し込み下さい

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/69098>



お問い合わせ

CAESEKI.com 事務局 担当 小田

E-mail: seminar@caeseki.com

留意事項

- 本セミナーは自席からインターネット経由でご参加いただく形態です。ご参加に必要な回線使用料はお客様のご負担となります。
- ご参加には Web ブラウザ(Google Chrome, Microsoft Edge 等) が必要になります。
- 本セミナーでは参加者の PC 環境、インターネット接続環境、回線状況などによって、接続できない、配信が中断される、音声が聞き取りにくいなどの現象が発生する場合がありますことをあらかじめご了承ください。
- 同業他社および個人の方のお申込みはお断りする場合がございます。

〔個人情報の取扱いについて〕

お客様の個人情報は、富士通株式会社及び富士通グループ会社が以下の目的で利用させていただきます。

- ・本セミナーに関する連絡および開催当日受付、その他円滑なセミナー運営に必要な事項の実施
- ・名札の作成
- ・イベント・セミナーの開催情報や製品・サービス情報のご案内（電話、e-mail、DM 等）

当日は情報交流促進のため、名札を着用いただきますのでご承知おきください。富士通グループ会社へ個人情報を提供する際には、契約により適切な管理を義務付けた上で E-mail 等で提供いたします。同意いただけない場合は、大変申し訳ございませんが、本セミナーのお申込みはできません。情報の開示・訂正・追加・削除および利用停止を希望されるお客様は以下にご連絡ください。

[個人情報に関するお問い合わせ] 富士通株式会社 担当 小田島 E-Mail: seminar@caeseki.com

講演プログラム

13:00～13:10	「CAESEKI.com 事務局よりご挨拶」	富士通株式会社
事例講演 I	MBD 促進のための CAE 利用環境整備への取り組み	
13:10～13:50	<p>弊社では早い段階から MBD による自動車開発を行っており、その中でも CAE は欠かせないツールとなっており、HPC（High Performance Computing）への大規模投資を行い、現在では研究から製造までの幅広い領域で CAE を利用している。</p> <p>加えて、CAE を HPC 環境で利用するためのシステムを作り、効果的に CAE を利用する環境の整備も実施している。</p> <p>本講演では、CAE の利用者の立場ではなく、HPC 環境を管理する立場として、HPC 環境での CAE の利用に対する取り組みと運用面での課題を紹介する。</p>	マツダ株式会社 MDI & IT 本部 エンジニアリングシステム部 貞苅 大輔 様
事例講演 II	スパコン「富岳」が拓く Society 5.0 時代のスマートデザインと感染リスク評価の DX	
13:50～14:30	<p>超並列スパコンを活用したシミュレーションとデータ科学との融合によるスマートデザインの事例について、自動車 CAE を中心に紹介する。</p> <p>またこのフレームワークの活用事例として、新興ウイルスの飛沫感染リスク評価の DX について報告する。</p>	理化学研究所 計算科学研究センター チームリーダー 神戸大学大学院 システム情報学研究科 教授 坪倉 誠 様
14:30～14:40	休憩	
事例講演 III	CAE を活用した競争力のあるモノづくり開発 ～その後の進捗と更に生産含めた CAE プロセスへの拡張～	
14:40～15:20	<p>AT/CVT の開発に MBSE を取り入れ、設計プロセスの改善に取り組み、L/T 短縮や実験工数削減に貢献した。</p> <p>今後は、電動化含めフレキシブルにタイムリーに対応した競争力のあるモノづくりが必要である。設計だけではなく、生産を含めた CAE プロセス変革を目指した活動について、現在の取り組みや今後の展開を紹介する。</p>	ジヤトコ株式会社 デジタルイノベーション推進部 部長 朝原 健仁 様
富士通からのお知らせ		
15:20～16:00	富士通の製品・サービスのご紹介。	富士通株式会社

* 本セミナーは技術の研修を目的とするものではありません。

* プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。